

なりわい再建支援補助金の活用事例  
**株式会社高澤酒造場（富山県氷見市）**

<ポイント>各種支援策を活用し、迅速な事業再開に取り組むとともに、段階的な復旧を果たす



店舗外観



代表銘柄の曙シリーズ



全壊した倉庫の基礎部分



建替後の倉庫

## 会社概要

- 住所 富山県氷見市北大町18-7
- 連絡先 0766-72-0006
- 代表取締役 高澤 龍一
- 事業内容 日本酒の醸造・販売
- 自社のPRポイント

代表銘柄の「有磯曙」をはじめ、伝統的な手法にこだわった日本酒を製造しており、富山県内の酒蔵で唯一「槽搾り」を守り伝えています。

## 被災時及び復旧後の状況

- 震災により蔵3棟が全壊となり、発災後1か月間は製造を停止していました。
- 令和6年2月頃に、日本酒製造に必要不可欠なもろみ冷却器等を自費で応急処置した上で、小規模事業者持続化補助金を活用しつつ、迅速な事業再建に取り組みました。
- 被災時点で仕掛けられていた酒の製造が完了した、令和6年の夏ごろから、建物の復旧に着手しました。なりわい再建支援補助金を活用し、3棟分の面積を使って、機能を集約させた1棟の倉庫に建替を行いました。

## なりわい再建支援補助金を活用した経緯

- なりわい再建支援補助金は、発災直後、中部経済産業局の職員がヒアリングに訪問いただいた際に知りました。
- 申請にあたっては、商工会議所で開催された説明会に参加後、地元の金融機関等が手厚くサポートしてくれたおかげもあり、申請までたどり着けました。
- まずは事業再開に必要な設備から修繕を行った上で、本格的な建物の建替に取り組むことで、事業を継続しつつ、段階的に復旧を行いました。

## 事業者からのメッセージ

- 地元の金融機関等と何度もやりとりを行い、申請までのプロセスを手厚く支援をいただきました。
- 小規模事業者持続化補助金やなりわい再建支援補助金を活用しながら、事業再開に不可欠な部分を迅速に復旧するなど、段階的に復旧していくことが重要だと思っています。
- 今後は、国内消費が落ち込んでいることから海外の新規開拓に力を入れていきたいと考えており、嗜好品として、商品のストーリーや自社の価値観をうまくブランディング化し、デザインやPR方法も含めて検討ていきたいと考えています。